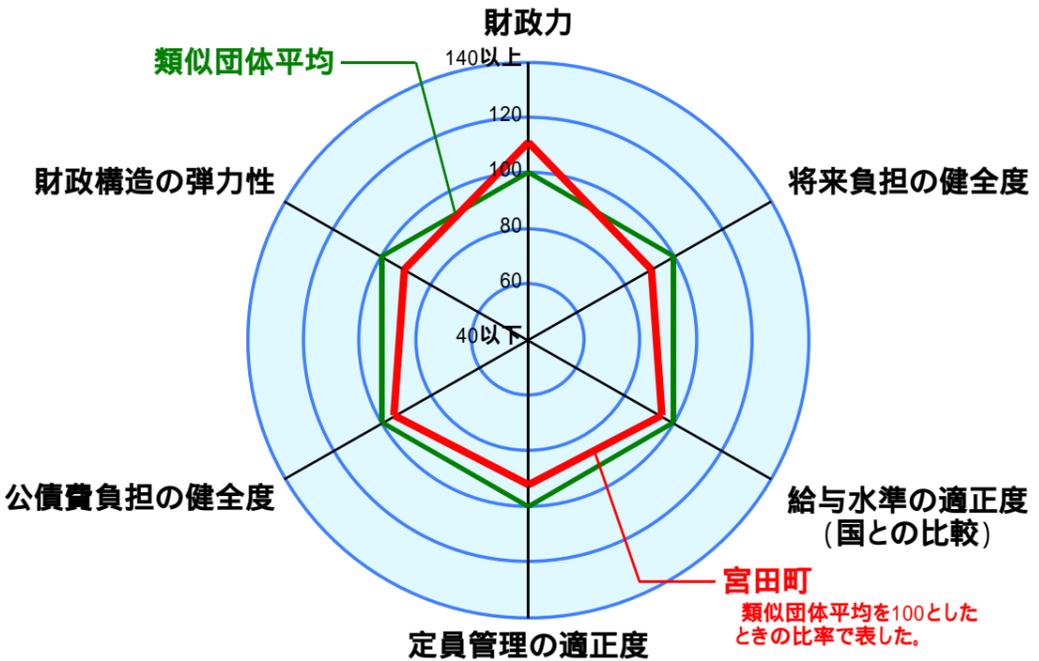
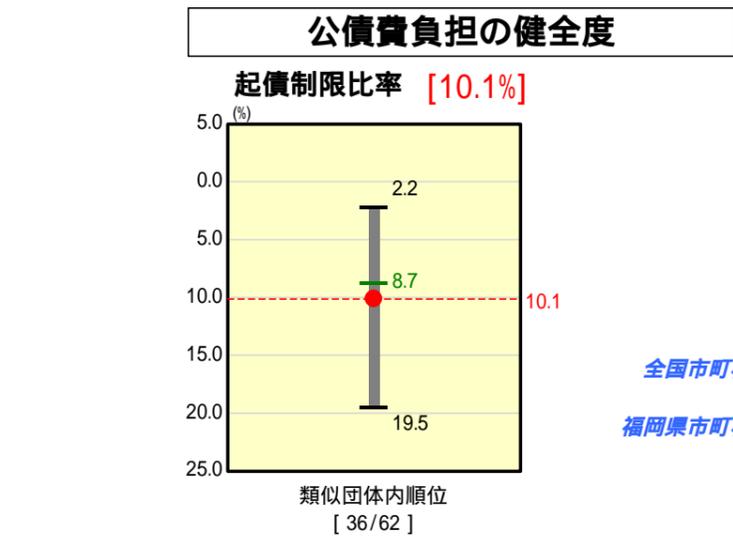
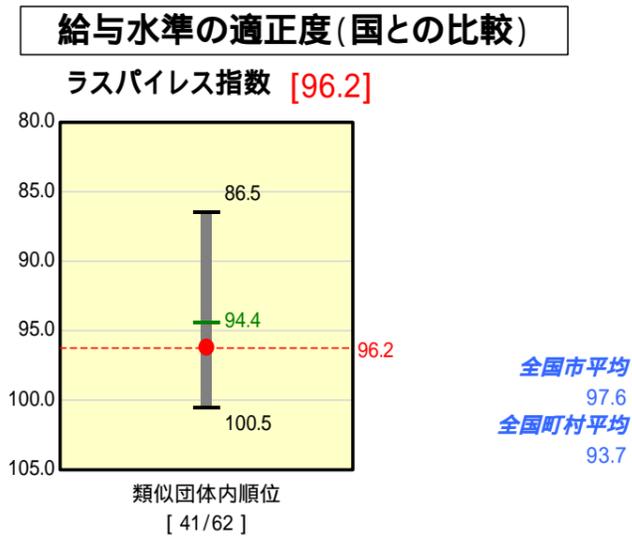
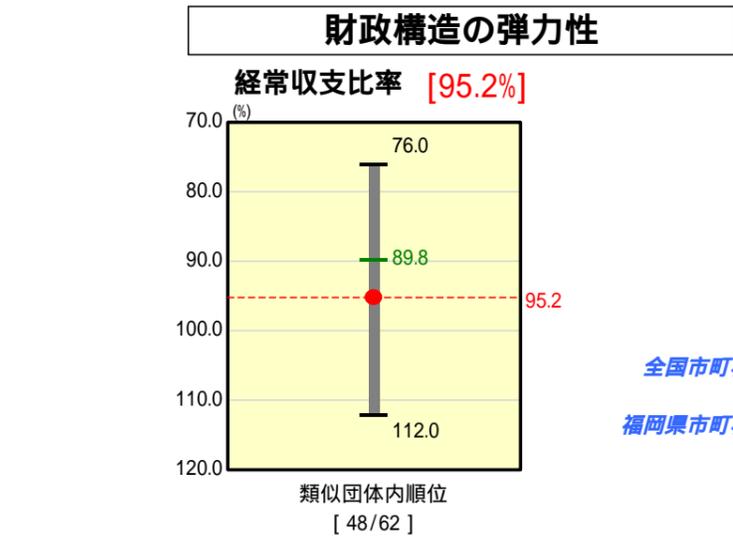
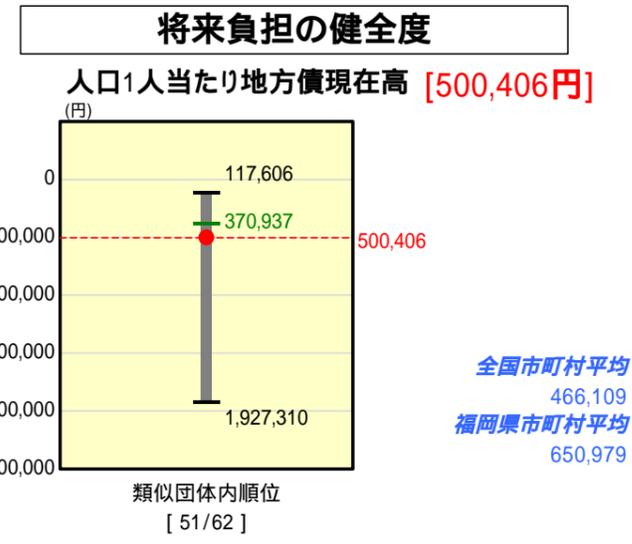
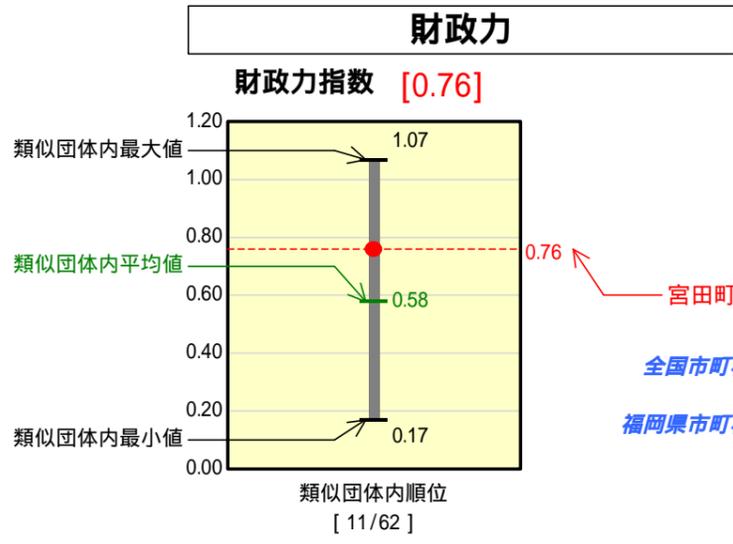


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 宮田町

人口	21,186 人(H17.3.31現在)
面積	52.49 km ²
歳入総額	8,493,230 千円
歳出総額	8,365,288 千円
実質収支	37,050 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
自動車関連産業の立地に伴う固定資産税、法人町民税の増収により、ここ数年財政力指数は伸長し0.76となっている。今後も自動車関連産業の増産体制の強化や新規立地により固定資産税、法人町民税の増収が見込まれるが、さらに定住促進などの施策により個人住民税等の増収確保を図り、歳入確保に努める。

経常収支比率
ここ数年の下水道事業会計、介護保険事業への繰出金の増、し尿、塵芥にかかる一部事務組合の施設更新に伴う負担金の増により、経常収支比率が伸びている。徹底した行財政改革の実施による経常経費の圧縮と税等の経常一般財源の確保を図り、財政の健全化を図る。

起債制限比率
企業誘致等に係る産業関連道路等の整備事業に起債を充当したことなどにより、全国や県平均を下回っているものの類似団体より1.4ポイント高い数値となっている。今後は起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たりの地方債現在高
旧産炭地域としての閉山後遺症対策、企業誘致関連事業の実施などにより地方債現在高は上昇してきたが、ここ3年は起債償還額を下回る起債借入に努め、減少傾向に転じている。しかし、全国平均及び類似団体と比較して高い額を示しており、今後ともプライマリーバランスの確保に努め、財政健全化を図る。

ラスパイレス指数
平成14年度から15年度にかけて、行財政改革の観点から職員の給料月額及び管理職手当を1%減額し、調整手当の廃止、昇給停止年齢の引き下げ(55歳)等給与運用の適正化を図ってきた。平成16年には前年比 1.3ポイントのラスパイレス指数94.9まで抑制を図れたが、退職者数の減及び新規職員の採用等階層の変動により平成17年には96.2と上昇となっている。今後は昇給制度、各種手当、旅費支給等の見直しに着手し、より健全な給与運用を図れるよう努力していく。

定員管理の適正度
平成11年度策定の定員適正化計画により、平成15年度における総数232名としていたが、介護保険への派遣、育児休業者及び退職者等の増加、下水道、国土調査等新規業務が発生する中、平成17年4月現在で225人と職員数の抑制を図っている。今後、行政課題に柔軟に対応できる職員の資質向上を重視し、限られた職員数で最大限の住民サービスを提供できる体制づくりを目指す。

